

止まり木



4つの心で本当の強さを持つ人に **修了式**

本日の修了式でお話した内容を紹介いたします。

今日で令和6年度が修了します。本当にあっという間だったように思いますが、みんなはどう感じていますか？早かったですか？遅かったですか？いろいろな感情をもって今日を迎えていることと思います。

今年度は体育館の建て替え工事が始まり、みんなには大変不便な思いをさせたことと思います。しかし、工事関係のみなさんもみんなの安全を第一に、また授業や行事に支障が出ないようにたくさんの配慮をしてくださっています。みんなも一緒に体育館を完成させるとの思いでこの環境の中で頑張ってもらいたいと思います。実は体育大会は近隣の高校をお借りして土曜日に実施する予定でした。しかし、少し窮屈になってもみんなが慣れ親しんだグラウンドでやらせてあげたいとの先生方の思いで、このグラウンドで実施しました。合唱コンクールはさすがに区民ホールでの実施になりましたが、環境が変わってもしっかりとやるべきことをやっているみんなの姿を見て本当にうれしく思いました。そのような1日1日の積み重ねを経て今日を迎えることができたことをお互いに喜び、感謝しあいたいと思います。

体育館は今年の7月ごろに完成予定なのでもうしばらく我慢してください。

話は変わりますが、卒業式の時に卒業生に贈った言葉をみんなにも紹介したいと思います。卒業式に参列した人は、一度聞いていますが、もう一度聞いてください。それは、

『人に接するときは 暖かい春の心 仕事(勉強・部活)をするときは 燃える夏の心
考えるときは 澄んだ秋の心 自分に向かうときは 厳しい冬の心』

というものです。

人に対しては優しく、暖かく接し、自分に対しては厳しくなれる。そんな本当の意味で心の強い人にみんなにもなってほしいと願っています。そしてもう一つは、今年度の始まりにもお話ししたことです。それは、「頑張っている人を正しく認める文化」、「人を認める文化」をみんなで作っていくということです。好きとか嫌いとか合う、合わないという感情だけでなく、周りにいる人の良い面を認めるという文化です。人はともすると周りの人に対し、自分よりも劣っているところや嫌なところを探し、時には攻撃し、自分を優位にして安心させようとすることがあります。しかし、そんな気持ちで人に接していけば一人一人の成長はストップしてしまいます。一緒に新年度も「人を認める文化」を築いていきましょう。このことは新入生にも入学式で話そうと思います。さあ、今日から新年度に向けて心の準備を始めながら有意義な春休みを過ごしてください。期待しています。

保護者の皆様へ

保護者の皆様、本日で今年度が修了いたしました。様々な学校行事が無事に実施でき、今日の日を迎えることができましたのは保護者の皆様の中学校への深いご理解とご協力のたまものであると感謝の気持ちでいっぱいです。本当にありがとうございました。新年度もどうかよろしく願いいたします。